

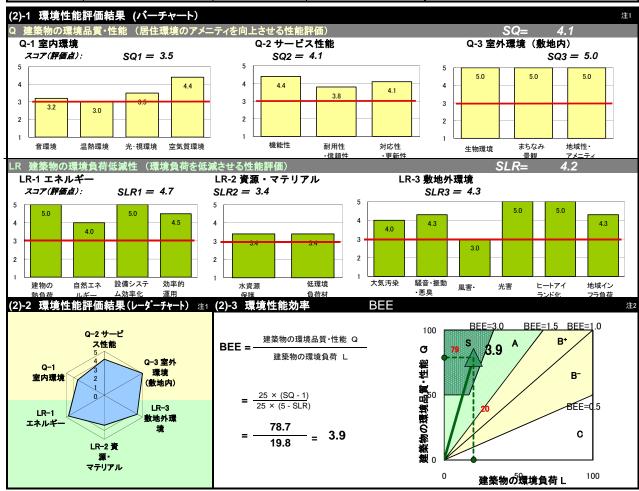


建築物総合環境性能

評 価 結 果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2006年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb 2006(v.1.21)

作成者山壽夫建築研究所 確認者」壽夫建築研究所 作成日 ############ 確認日 2008年12月11日 (1) 建物概要 建物名称 同志社中学校 高等学校 新体育 敷地面積 39,335 m² 建物用途 学校 建築面積 2,512 m² 建設地 京都府京都市 延床面積 2,328 m² 気候区分 地域区分Ⅳ 階数 地上1F 地域·地区 指定なし 構造 RC造一部S造 竣工年 2010年3月 予定 平均居住人員 年間使用時間 1,920 時間/年



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目 (3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標 <実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入> 年間延床面積あたり指標 年間延床面積あたり削減量 MJ/年㎡ 運用エネルギー消費量 MJ/年㎡ MJ/人時 運用CO₂排出量 kg-CO₂/年㎡ kg-CO₂/人時 kg-CO₂/年㎡ 水消費量 m³/年㎡ m³/人時 m³/年㎡ LCCO₂排出量 kg-CO₂/年㎡ kg-CO₂/人時 kg-CO₂/年㎡ t/年㎡ LC廃棄物量 t/人時 t/年㎡ LC資源消費量 t/年㎡ t/年㎡ t/人時 (3)-2 デザインプロセスの評価 建設段階 有資格者による設計 環境管理計画 Q: Quality L:Load LR:Load Reduction SQ:Score of Q category SLR:Score of LR category 注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアS(Q-1, Q-2, Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。 Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。注3: (3)の評価はオブションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。 BEE: Building Environmental Efficiency